

幼保等小中連携カリキュラム (平成28年度末 一部修正)

【岱明中学校区幼・保等、小、中連携推進協議会】

めざす 子ども像	<input type="checkbox"/> 素直で思いやりのあるやさしい子ども <input type="checkbox"/> 人の話をよく聞き、自分の思いをしっかり伝える子ども				
	0~2歳児	3~5歳児	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学校
発達の主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・探求心、好奇心が旺盛で何でもやってみようとする意欲がみられる。 ・言語面が発達してくるので、友達との交流が広がってくる。 ・依存から自立への時期である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性が強くなり自己主張をし、友達とのぶつかり合いも多くの反面、友達との関わりを深め友達に対するいたわりや思いやりの気持ちも育ってくる。 ・仲間意識をもち、進んで集団での活動に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のことも考えて行動できるようになるが、自己中心的な面も見られる。 ・友達と積極的に関わろうとし、素直に喜びを表そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性が増す一方で、他者からの評価を気にするようになる。 ・責任感が育ち、下学年の面倒を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期を迎え、自己の存在や将来について悩み考えるなど、心と体が不安定になる時期である。
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の育成が不十分な子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人や出来事をよく観察し、自分にあった行動を身につけようとする姿が見られる。 ・友達と喧嘩したり楽しく生活する中で、きまりの大切さを学んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中など、人の話を最後まで聞かないで、しゃべってしまう場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校間で交流する場が少ないので、他校の友達をよく知らない。行事や子ども会活動等を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをとることに苦手意識を持つようになるが、何事にも熱中しやすく積極的な一面もある。
基本的な生活育習成慣	<ul style="list-style-type: none"> ・返事や挨拶(「ハイ」「おはよう」「さようなら」「いただきます」)が元気に言える。 ・手や体で挨拶表現ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」「さようなら」が元気に言える。 ・温かい会話(「ありがとうございます」「ごめんなさい」)が素直に言える。 ・食事の挨拶がきちんと言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のきまりを守ったり、友達と何かよく遊ぶことができる。 ・「おはようございます」「さようなら」が丁寧に明るく大きな声で言える。 ・自分から進んで挨拶ができる。 ・人の話を、だまつて最後まで聞く。 ・相手の目を見て聞く。 ・聞く時に「ハイ」という返事 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校のきまりを進んで守り下学年に教えることができる。 ・時と場に応じた挨拶ができる。 ・人の話を、集中して聞ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校則を守り、自らの判断でしっかり行動することができる。 ・時と場に応じた挨拶ができる。 ・相手の立場に立って、聞ける。
人権教育の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや要求を保育者や友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親や先祖を尊う気持ちを持つ。 ・友達のよさに気づき、楽しく一緒に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達にやさしく接し、自分のしたいことや思い、考えを友達に伝える。 ・自分や友達の個性、よさに気づく。 ・学校の出来事を親に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人と仲良く活動し、相手の気持ちを考え、自分の思い・考えをわかりやすく、やさしく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の痛みがわかり、思いやりのある言動をする。 ・相手の立場を考え、自分の思いをしっかりと伝える。
・望ましい職業観から労働観	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児なりに、生き物や植物のお世話をして、満足感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番、係の仕事や毎日の掃除、保育士の手伝い等をすることで、他人の役に立つことが嬉しいと感じるようになる。 ・小さい子に対してやさしく接し、お世話をしたり一緒に遊んだりする。 ・職場訪問や農業体験等を通して、はたらく人々の姿を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家の手伝いや学級の仕事を通して、働くことの楽しさがわかる。 ・当番活動等で動植物にやさしく接する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭、地域の一員としての役割や仕事を通じて、働くことの大切さを知り、将来の夢や希望を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を通して、働く場や働く人々にふれ、正しい勤労観、職業観を持つと共に、適正等自分をよく知り、将来の進路を考えることができる。
ふるさとの育成感	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統行事に興味を持つ。 ・親子でホタル等を見て、美しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な伝統行事に参加することで、地域の人々とふれあう。 ・高齢者をはじめ、自分の生活に関係の深い人々に親しみを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な体験を通して、ふるさとの自然や文化、生活に親しみ、ふるさとを好きになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの文化や伝統に積極的に関わり、ふるさとに誇りをもつ。 ・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然環境を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に誇りを持ち、よりよくしようとする態度を身につける。
具体的な教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこ ・親子ふれあい会 ・老人施設訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんごっこ ・七夕飾りつけ ・保護者と子ども達とのふれあい会 ・老人施設訪問(敬老の集い) ・独居老人招待 ・小学校での体験入学 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小児童の交流(授業等) ・職員間交流(授業・保育参観) ・老人施設訪問 ・運動会など学校行事への招待 ・各小学校の体験入学 ・幼保小連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小児童の交流活動 ・中学校との交流授業 ・中学校の体験入学 ・小中連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業及び小学校との交流授業 ・小学校でのあいさつ運動 ・高校の体験入学 ・小中連絡会 ・幼、保との交流活動